

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

羽島市地域公共交通協議会 (羽島市)

平成27年1月21日設置

令和2年3月 羽島市地域公共交通網形成計画策定
(計画期間：令和2年4月～令和7年3月)

令和3年6月25日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

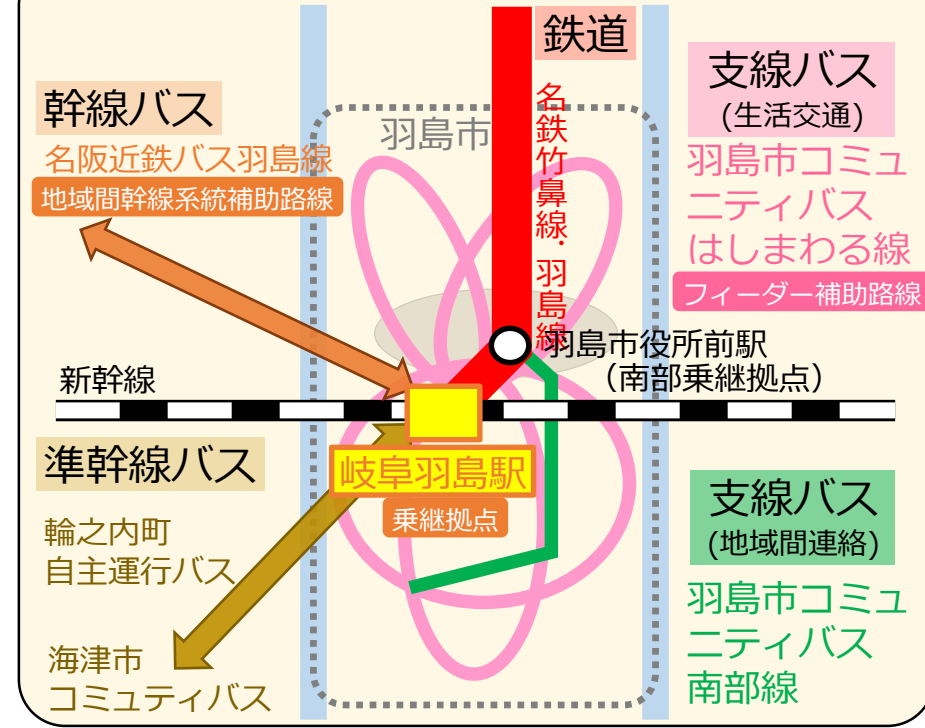
令和4年3月10日 令和3年度評価結果送付

1. 【Plan】 協議会等が目指す地域公共交通の姿

地域の特性・概要・公共交通の取り組みの背景

- 岐阜羽島駅を交通結節点として、広域的には鉄道や路線バスが、地域内ではコミュニティバスが運行
- 高齢化の進展に伴い、都市間移動や日常生活の足として、各地域の移動ニーズにも対応した商業施設・医療施設等へのアクセスの確保が一層重要
- 岐阜羽島駅では乗り継ぎ拠点としてバス乗り場のわかりやすさや待合環境の改善が課題
- R2年3月策定の「羽島市地域公共交通網形成計画」に基づき、当該計画が掲げる本市の地域公共交通目指す将来像である「人と暮らしをつなぎ、みんなで支えあう地域公共交通体系の構築」の実現に向けた取り組みを実施

公共交通ネットワークイメージ



羽島市地域公共交通網形成計画(令和2～6年度)

基本理念 『人と暮らしをつなぎ、
みんなで支えあう地域公共交通体系の構築』

目標

- ① みんなの暮らしを便利にする公共交通の実現
- ② 人の交流やにぎわいを生み、まちを活性化させる公共交通の実現
- ③ みんなが知っている、気軽に使える公共交通の実現
- ④ みんなが協力して支えあう公共交通の実現

主要な施策

- ・公共交通のPR
- ・GTFS-JPの整備
- ・バスロケーションシステムの導入
- ・デジタルサイネージの設置
- ・高校生の通学に対する補助
- ・運転免許証自主返納支援事業
- ・コミュニティバス路線の見直し検討

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組①

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
公共交通利用ガイドの作成・活用	「公共交通利用ガイド」を作成し全戸配布するほか、公共施設等に配布	令和3年11月のダイヤ改正内容を反映したマップを28,000部発行し、市広報10月号と併せて市内全戸に配布したほか、駅や主要施設にも設置	公共交通のダイヤ改正等に関する情報を迅速かつ広く市民や利用者に提供することができた。
公共交通のP Rの実施	イベントや市の行事等、様々な機会を捉えて、公共交通のP Rを実施	国営木曽三川公園でのイベントでコミュニティバスの車両を展示し、乗車しての記念撮影会を実施 (参加人数：約800人)	幅広く公共交通への関心を高めることにつながった。
	中学生を対象としたコミュニティバスの説明会を開催	中島中学校及び桑原学園で開催 (参加人数：約200人)	コミュニティバスを通学手段の選択肢の一つとして認識してもらおう一助となった。



バス車両展示・記念撮影会の様子



コミュニティバスの説明会の様子

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組②

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
バスロケーションシステムの導入	GTFS-JPを活用した「バスロケーションシステム」を導入	令和4年11月から、バスロケーションシステムの試験運用を開始	導入から間もないため、今後、運用開始のPRと効果検証をしていく必要がある。
デジタルサイネージの導入	コミュニティバス車内にデジタルサイネージを設置し、行政情報・有料広告等を放映	令和4年12月から、デジタルサイネージの設置及び放映を開始	紙媒体からデジタルに転換したことによる環境負荷低減や地元企業の広告掲載による収入増につながった。
高校生の通学に対する補助	コミュニティバスの通学定期券購入費用の一部を補助	令和4年度の申請件数は令和3年度と同程度(67件→63件)	通学の利便増進及び公共交通機関の利用促進に資した。
運転免許証自主返納支援事業	運転免許証自主返納者等を対象に、コミュニティバス無料乗車証等を交付	令和3年度に比べて令和4年度の申請件数が増加(74件→84件)	自家用車から公共交通への転換促進に資した。

令和4年11月11日から運用開始！！

**羽島市コミュニティバス
バスロケーションシステム**

「いつ来る？」
「いまどこ？」
がすぐわかる！



スマホで！



5秒に1度
位置が更新！


QRコードを
読み取る
だけ！！

読み取れないときは、URLを直接入力！
<http://hashima.bus-go.com>

※青線のみでの運用です。
はしまわの線は未対応です。

デジタルサイネージの設置状況

バスでのコロナ対策、行政情報、広告、
コミュニティバス案内(通学定期補助、免許返納特典等)を表示



羽島市からのお知らせ
このバスはコロナ対策を実施して
運行しています

市では**65歳以上の市民の方**で免許証を
・自主返納した方
・有効期限は過ぎたが更新していない方
に次のどちらかを交付します！

①市コミュニティバス
無料乗車証
(12ヶ月有効)

または

②名阪近鉄バス
普通回数券
(5,000円セット)2組

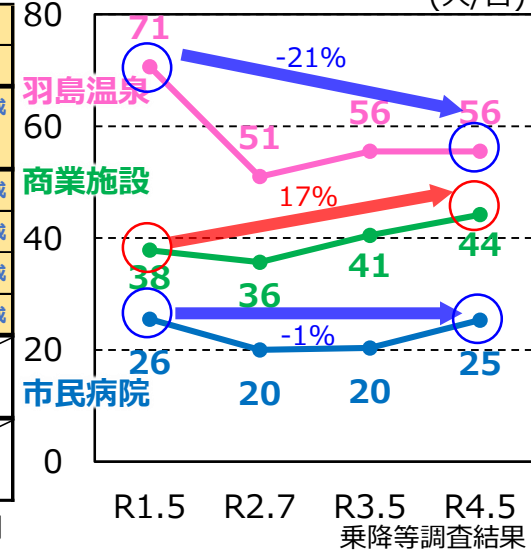
申請期限は、返納もしくは免許期限日から **6か月以内**

お問い合わせは 生活安全課(市役所2階73番窓口)まで

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

生活交通確保維持改善計画（R3.6策定）における目標値の達成状況

路線名	年度	実績値								目標値		
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4	
★ はしまわる線 (旧・市内線)		39,325 (前年比)	35,754 (-9%)	41,552 (+16%)	49,587 (+19%)	45,911 (-7%)	43,851 (-4%)	33,333 (-24%)	33,919 (+2%)	37,860 (+12%)	44,050	未達成
東・はしまわる線				3,828	8,785	7,878	7,021	6,495	6,669	6,782	7,050	未達成
西・はしまわる線				4,325	8,387	7,808	7,250	5,515	5,406	5,342	7,280	未達成
中・はしまわる線				2,027	13,524	13,654	13,615	9,442	10,767	12,864	13,680	未達成
温泉・はしまわる線				13,239	18,891	16,571	15,965	11,881	11,077	12,872	16,040	未達成
南部線		103,781 (前年比)	97,253 (-6%)	80,268 (-17%)	62,461 (-22%)	62,819 (+1%)	57,492 (-8%)	42,974 (-25%)	39,161 (-9%)	44,671 (+14%)		
合計		143,106 (前年比)	133,007 (-7%)	121,820 (-8%)	112,048 (-8%)	108,730 (-3%)	101,343 (-7%)	76,307 (-25%)	73,080 (-4%)	82,531 (+13%)		

はしまわる線バス乗降者数
(人/日)R1.5 R2.7 R3.5 R4.5
乗降等調査結果

年度=10月~9月

★フィーダー系統補助路線

目標値の達成状況に関する考察

新型コロナウイルスの影響で減少

はしまわる線

- 令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で利用者が大きく減少した。
- 令和元年5月と令和4年5月の主要なバス停別乗降者数を比較すると、羽島温泉の乗降者数は21%減とコロナ禍で落ち込んで以降あまり回復が見られていない。一方、商業施設は17%増とコロナ禍前の水準を超えて増加しており、市民病院の乗降者数は概ねコロナ禍前の水準まで回復している。

南部線

- 新型コロナウイルスの影響が出る前から、高校生の減少により利用者数の減少が続いている。
- 特に通学時間帯の減少が大きいことから、利用者全体に占める割合の高い高校生の利用促進を図る必要がある（令和4年度の高校生構成比：約42%）。

自己評価

評価について、令和5年1月に地域公共交通協議会（書面協議）で承認

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

羽島市地域公共交通網形成計画（R2.3策定）における評価指標

計画目標	評価指標	実績値			目標値	考察
		R2	R3	R4	R6	
みんなの暮らしを便利にする公共交通の実現	利用者数(人/年) ・名鉄竹鼻線・羽島線 ・名阪近鉄バス羽島線 ・羽島市コミュニティバス	200万9,948 14万8,402 7万6,307	155万7,328 14万6,374 7万3,080	166万6,183 15万1,855 8万2,531	204万0,000 15万3,000 10万2,000	・コロナ禍の影響で目標を下回っているが、緩やかな回復傾向にある。
	商業施設・市民病院の乗降者数(人/日)	56	61	70	65	・主に商業施設を目的とした利用増により目標値を上回った。
人の交流やにぎわいを生み、まちを活性化させる公共交通の実現	中心市街地のコミュニティバス乗降者数(人/日)	269	278	321	390	・コロナ禍の影響で目標を下回っているが回復基調にある。
	主要交通結節点での乗り継ぎ利用者数(人/日)	20	21	20	25	・コロナ禍の影響で目標を下回っており、停滞が続いている。
みんなが知っている、気軽に使える公共交通の実現	出前講座・乗車体験会の開催回数(回/年)	0	1	1	12	・住民と対面で開催する性質上、コロナ禍の影響で開催回数が少なくなっている。
みんなが協力して支えあう公共交通の実現	協働・連携した取組数(件)	0	0	1	5年間で5件以上	・デジタルサイネージへの有料広告掲載で地元企業による地域交通への支援が実現。

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
<p>○利用状況</p> <p><はしまわる線></p> <p>令和2・3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で利用者が大きく減少 <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽島温泉：利用者数が回復していない ・商業施設：コロナ禍前の水準を超えて増加 ・市民病院：概ねコロナ禍前の水準まで回復 <p><南部線></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響が出る前から、継続して利用者数が減少 ・特に通学時間帯の減少が大きいいため、利用者全体に占める割合が高い高校生の利用促進を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・南部線は、中学生や高校生に対するPRや高校生バス通学定期購入補助事業の継続により、バスを利用した高校通学の促進を図る。 ・バスロケーションシステムの試験運用により利便性が向上していることをPRするなど、利用促進を図る。 ・バス車内にデジタルサイネージを設置し、有料広告を掲載することで、地元企業による地域交通への支援が実現した。今後も活用を図っていく。
<p>○PR事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で計画していた出前講座・乗車体験会が開催できない状態が続いていたが、令和4年度は開催することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況を見ながら取組の実施を検討し、コロナ禍でもできる取組等を模索していく。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況	今後の対応方針
前回	① J R 岐阜羽島駅のバス停にバスののりば番号を設定したことを確認した。	・設定した番号を駅構内の案内図や公共交通利用ガイドにも掲載した。	・引き続き、バス停の掲示内容やバス停までの案内の改善等に取り組んでいく。
	② 羽島市コミュニティバスを対象に標準的なバス情報フォーマット(GTFS-JP)を作成し、オープンデータ化したことを確認した。	・GTFS-JPを活用し、令和4年11月から南部線を対象としたバスロケーションシステムの試験運用を開始した。	・利用者の意見を把握するなど、システムの導入による効果検証を実施していく。
	③ 新型コロナの影響により利用者数が回復しない路線も見受けられるため、感染対策のPRなど公共交通の利用促進が図られることを期待する。	・バス車内にデジタルサイネージを設置。感染対策の動画を放映し、安全・安心なバスであることのPRをした。	・今後も新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、感染対策を十分に実施していることの更なるPRを実施していく。
	④ 学生に対する利用促進のため、通学定期券の補助制度の活用を促すようPRに努められることを期待する。	・高校生バス通学定期購入補助事業、名阪近鉄バスへの乗継割引を継続して実施した。デジタルサイネージでもPR動画を放映した。	・引き続き、同様の取組を実施するとともに、公共交通のPR・利用促進を図っていく。
前々回	① 高齢者の運転免許証自主返納者への特典付与の拡充、高校生のバス通学定期購入補助等事業を実施し、公共交通のPR・利用促進を図る取組を実施したことを確認した。	・高齢者の運転免許証自主返納者への特典付与、高校生バス通学定期購入補助事業、名阪近鉄バスへの乗継割引を継続して実施、デジタルサイネージでも各事業のPR動画を放映した。	・引き続き、同様の取組を実施するとともに、公共交通のPR・利用促進を図っていく。
	② 本年度からスタートした新たな地域公共交通計画の各事業について、スケジュールどおり進められていないものが見受けられる。コロナ禍であってもできるものから検討・調整が進むことを期待する。	・コロナ禍であってもできるものとして、岐阜羽島駅のバス停の「のりば番号」の表示、「GTFS」の整備、「地域別マップ」の作成、新庁舎への乗り入れ、南部線の最終バス繰り下げ、公共交通利用ガイドの発行を実施した。	・新型コロナウイルス感染症の動向を捉えながら、今後も羽島市地域公共交通網形成計画に示した各事業を実施可能なものから順次実施していく。

※前回：令和4年2月18日、前々回：令和3年2月16日

PDCAの推進体制



直近の会議の開催状況

【公共交通会議の実施状況】

- 第1回会議 令和4年4月(書面協議)
 主な議題: R3事業報告、収支決算・監査報告
 R4事業計画、当初予算
- 第2回会議 令和4年6月23日
 主な議題: R3事業評価(二次評価結果)
 R5確保維持計画の協議
- 第3回会議 令和5年1月(書面協議)
 主な議題: R4事業評価(自己評価)

今後のスケジュール

- R 5 次期計画策定のための調査の実施 (R5~R6)
- R 6 計画の改訂 (R6.3)
 (「地域公共交通網形成計画」→「地域公共交通計画」)
- R 7 次期計画「地域公共交通計画」の策定 (R7.3)